

石垣市不戦と平和を希求する決議

今年8月2日、アメリカのペロシ下院議長によるアジア歴訪の一環としての台湾訪問に中国が反発し台湾周辺で大規模な軍事演習を行い、発射されたミサイルのうち一発が波照間島近海の日本EEZ内（排他的経済水域）に着弾したことは八重山郡民を始め日本中に衝撃を与えた。

ペロシ下院議長と中国の行為は台湾海峡やアジア太平洋地域の安全を脅かす行為として世界各国にも懸念と批判が広がった。

中国軍が日本のEEZ内に向けてミサイルを発射した理由として「米軍基地がある日本は台湾有事の際は当事者だ」とする中国側の考えがあるとの見解もあり、この軍事的脅威に日本はどう備えるべきか、尖閣諸島も含め政府への対応を求める声が高まっている。

政府要人も台湾有事に関し「起こる可能性が高い」と述べ、避難シェルターの設置など、有事を想定した発言が相次ぎ、市民や八重山郡民の不安と懸念が現実味を帯びてきた。

平和を望まない人はいない。戦争は多くの人々の苦しみ悲しみ憎しみを生むだけである。戦争が起きないように平和への思想、生命尊厳の思想が必要であり、石垣市には「世界平和の鐘」が存在し「非核平和都市」「核廃絶平和都市」を宣言している。その意義を世界に向け常に発信し続ける使命がこの島にはあると考える。

よって石垣市議会は「平和発信の島」、「平和を希求する島」との決意のもと以下、決議する。

記

一、私たちは、市民の命と暮らしと未来を守るため、世界に向け「平和の島、石垣島」を発信し続ける。

一、私たちは、八重山諸島に脅威を及ぼす台湾海峡及び、尖閣諸島周辺における戦争、そして世界の全ての戦争に反対する。

一、私たちは、世界へ「世界平和の鐘」、「非核平和都市宣言」、「核廃絶平和都市宣言」の意義を伝え、世界に誇れる平和発信の島を築くため邁進する。

令和4年10月17日

石垣市議会